



Sainokuni Higashiomiya Medical Center

彩の国東大宮メディカルセンター 研修医募集案内





Sainokuni Higashiomiya Medical Center



医療人としての第一歩を ここから始める



医療人としての第一歩を 充実した環境・教育体制の下で



院長 藤岡 丞

2019年1月1日付で院長を拝命しました藤岡と申します。坂本前院長の志を引き継ぎ、「患者さんも職員も笑顔になれる病院」を目指してまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

当院の最大の特徴は、診療科や職種を越えたチームワークの良さです。特にがん診療の面では、診断から手術、放射線治療、化学療法、さらに緩和ケアまで、高い知識と技術を身につけたプロフェッショナルの力を集約して、患者さんを中心にした質の高い医療を提供しております。また救急医療においても、より多くの患者さんに、より早く高度の治療を提供する体制を整えております。

もうひとつの特徴は、医療の本質である「患者さんに寄り添う心」です。

心身を病んだ患者さんに少しでも癒しの環境を提供しようと、院内には木と水をイメージしたインテリアを創造し、病院でありながら病院でない安らぎの環境を醸し出しております。このような環境は私たち職員にとっても、伸びやかに自分の力を発揮し、心から患者さんに寄り添うことができる力を与えてくれます。

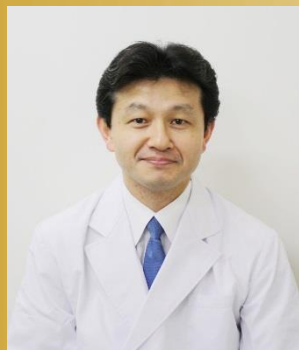
医学生の皆さんへ

これから医療の道を歩みだす皆さんは、社会から「良き医師」になることを強く求められています。「良き医師」にはさまざまな要素があると思いますが、まずは常に患者さんを思う心、多職種と笑顔でチームを築けるコミュニケーション能力、そして怠けなくなる心を抑えて自分を高める克己心が重要だと思います。

皆さんが「良き医師」になることを社会から求められている以上に、当院は臨床研修指定病院として「良き医師を育てる」ことを強く求められています。そのためにも病院として、さまざまな取り組みを行っています。

各診療科の医師は原則的に厚労省の指導医講習会を終了しており、熱心に指導に当たっています。EPOCに基づいて、しっかりしたカリキュラムと360度評価システムを備えています。女性医師を含む中堅医師数名をメンターに任命し、診療以外の悩みまで先輩として相談に乗っています。また女性の専従事務職員2名が、生活面まで含めてキメの細かいケアをしてくれます。

そのような環境のもとで、皆さんは「良き医師」への道を着実に歩んでいけると自負しています。臨床研修医に選ばれない病院は、患者さんにも選ばれません。臨床研修の質の高さは医療の質の高さを示す良い指標であると考え、これからも臨床研修に力を入れていきます。



臨床研修センター長

副院長 長田 秀夫

診療科 脳神経外科

2015年 入局



「3年目での独り立ち」

当院の研修目標です。その為の様々な取り組みの一端をご紹介します。

1. 「挨拶をする」「時間を守る」「約束を守る」「協力する」

医師として成長していく上で最も重要な要素の1つと考えております。医師である前に、社会人としての常識は当然備えていなければなりません。当たり前のことを自然にできるように指導しております。皆様の多くは3年目以降、大学病院等に進んでいきます。どこに行っても恥ずかしくない人間性を磨いて頂きます。

2. チーフレジデントの選出

2019年度から開始しました。前年度2月に1年目2年目の全初期研修医のみによる投票で選出します。院内の各種部会への参加、研修医の意見・要望のとりまとめ、初期研修医採用試験の面接官の一員等々、上から与えられてこなすのみではなく、自ら考え行動し、自分達のみならず未来の後輩たちが更により良き研修をできるように活動していく中心的役割を担います。一方で同期によるチーフへのサポートについても注目し評価しております。

3. メンター医師制度の確立、センター長面談

初期研修医2-3人に1人の常勤医師を配置し、皆様のメンタルヘルスケアのみならず、メンター任期を1～2年とし、多くの指導医が専門分野だけでなく、初期研修医の日常に接することで、臨床研修センター自体の活性化を図っていきます。また定期的なセンター長との個人面談で、研修進捗の確認や 今後の進路などについても相談できる体制です。

4. 学会発表などのプレゼンテーション教育

皆様は2年間の研修中、埼玉医学会総会、大宮医学会総会、大宮医師会主催の他院初期研修医との 合同症例検討会などの学会発表、論文作成のほか、年2回ある院内学会、月1回の研修医症例発表会、CPC（臨床病理）検討会、等々、多くのプレゼンテーションを実施する機会が与えられます。特に院内学会や研修医症例発表会では専門科の枠を超えて院内常勤医や他職種が集い、様々な質疑応答を経験することができます。修了時にはスライド作成、プレゼンテーション能力が十分身につくように指導に力を入れております。

5. 各診療科の研修内容のフィードバック

時代や環境の変化とともに、研修メニューや指導医の考え方も柔軟な対応が要求されます。各診療科部長には皆様も参加する臨床研修委員会等を通じ、研修内容のフィードバックや改善など随時お願いしております。ローテートする各科で効率よく基本的技能や知識が身につくように努めております。そして当院の柱の1つである救急科（2次救急、年間5,000件程度）の現場でcommon diseaseを中心にして幅広い分野の疾患、外傷などの初期対応能力を習得して頂きます。

将来に向けてまだまだ新たな取り組みを導入したり、改善していく所存です。
一緒に頑張りましょう！！



**積極性とやる気をもって
活躍してほしい**



**診療科全体で
研修医を育てます**



**多職種との
関わりの中で、
自分ができる
ことはないか**



**研修医の
【やりたい】に
応えたい**





「外科研修と当院の魅力について」

研修医1年目

2024年度入職 秋田大学出身

医学生の皆様、初めまして。パンフレットをご覧くださいありがとうございます。

さて、医学生の皆様にとって臨床研修病院選びは、今後のキャリア形成において、非常に重要であることだと思います。そんな皆様に、是非当院について知っていただきたいという思いから、当院の魅力と外科の研修について述べさせていただきます。

まずは、外科の研修についてです。外科研修は朝8時ごろに指導医の先生と回診をし、担当の患者さんの経過を慎重に見ていきます。この時に判明した問題点や、治療、今後の方針などを朝のカンファレンスで発表します。疑問点は、指導医の先生に質問できますので、疑問点を放置することなく、質問は学会発表の練習にもなります。カンファレンス終了後は、手術に入ります。手術では、基本的に手術サポート（カメラ持ち、筋鉤引きなど）をします。閉創時には実際に縫合させてもらうこともあります。機会があれば、部分的に執刀させていただくこともあります。外科の先生方は非常に熱心で、縫合一つを取っても、非常に細かいことから丁寧に教えていただけます。研修医室や医局には縫合や腹腔鏡の練習キットが置いてあり、自主的な練習もできます。外科は大変な部分もありますが、それだけ成長を感じる部分も多く、手術に関しても、基本的な手術の流れ、術前術後の患者管理、一般的な外科疾患の画像の見方について学ぶことができます。以上が外科研修のローテートになります。

次に、当院の魅力についてですが、私が考える魅力は主に3つあります。

1つ目は、病院全体として研修教育に十分な環境が整っていることです。当院は人物重視で採用を行っていることもあり、どの研修医も明るく朗らかで話しやすく、お互いに切磋琢磨することができます。また、指導医の先生との距離は近く、診療科全体で研修医を育てるという意識が強いため、積極的な指導を受けられます。

2つ目は、多くの経験を積めるということです。当院には専攻医がいないため、多くの手技や症例を経験することができます。縫合や静脈・動脈採血、ルート確保、気管挿管、尿道カテーテルなどの一通りの手技を、指導医の下で受けられるだけでなく、的確なフィードバックによりさらに深く学ぶことができます。私は外科をローテートして、縫合について確実な自信を持つことができました。

3つ目は研修医を大切にしてくれるということです。当院にはメンター医師制度というものがあり、診療科に関わらず研修医を全般にわたって、上級医に相談やサポートをしてもらえます。また、センター長との面談も可能で、日常生活における悩みや研修生活で気になったことなどについてサポートを受けることもできます。さらに、研修担当の事務の方も、研修医のことを気にかけてくれるため、細かいことでも気軽に相談することができます。

以上、当院について簡単に述べましたが、当院には、ここだけでは語りつくせない魅力が多くあります。興味を持たれた方は、是非一度、気軽に見学にお越し下さい。研修医一同、皆様とお会いできることを楽しみにしております。





「消化器内科研修の様子と 当院を志望した理由について」

研修医1年目

2024年度入職 北里大学出身

研修医生活が始まり2ヶ月が経ちました。入職当初、憧れの環境で働くことができる希望がありつつ不安が上っていました。しかし熱心な指導医の先生や温かいメディカルスタッフの方々のおかげで少しずつ業務に慣れてきました。ここでは、私が最初にローテーションしている消化器内科の業務について、当院を選んだ理由をお伝えします。

消化器内科では、まず午前中は病棟業務を行います。受け持ちの患者さんのカルテをチェックし検査の結果などを確認したあと、回診に行きます。その日の患者さんの状態をみて今後の治療をまずは自分で考えます。午後は、検査に入ったり先生と夕方の回診をしたりします。消化器内科の検査は、主に内視鏡検査や透視を使った検査、腹水穿刺などがあります。主に助手に入りますが、腹水穿刺などは研修医がメインで行えるため手技は豊富に経験できると思います。夕方には、指導医の先生と回診に行き、自分の考えをもとに先生と相談し、今後の方針を決めます。研修医が自ら考える機会が多く手技も経験できるため、成長できていることを実感します。最初のローテーションで不安が大きかったですが、丁寧に教えてくださる指導医の先生や温かい雰囲気メディカルスタッフの方々のもと充実した毎日を過ごしています。

次に私が当院を選んだ理由をお伝えします。

1つ目は、成長できる環境が整っていると感じたことです。各ローテーションでそれぞれ指導医の先生につきますが、お忙しい合間を縫って丁寧に教えてくださいます。働き始める前は、市中病院のイメージとして、手技はできるけれどフィードバックがもらえるのか心配でした。しかし実際に働いてみると手技を経験するときは指導医のもとで行い、それに丁寧にフィードバックして下さるので、安全に正しく医療行為を学ぶことができます。先生だけではなく、例えば事務の方は研修医一人ひとりの意見を聞いてくれて、私たちが働きやすいように環境を整えてくださいます。このように指導医の先生はもちろん、スタッフ全体が研修医に寄り添ってくださり成長する環境が整っている点が魅力だと思います。

2つ目は、病院全体の雰囲気の明るさに魅力を感じたことです。病院見学に来た際、職員とすれ違う時に挨拶しているところをよく見かけました。そして挨拶を通して、病院全体が明るい雰囲気であることを感じました。実際に働き始めても医師同士はもちろん、スタッフ同士での挨拶が頻繁に交わされていると感じます。それにより明るい雰囲気となりメディカルスタッフと良い関係を築けていると思います。普段からメディカルスタッフの方々に相談する機会は多く、患者さんの状態や処方、退院に向けての計画など些細なことでも快く教えてくださいます。メディカルスタッフの方々との良好な関係は、働きやすい職場環境につながり、結果的に質の高いチーム医療を患者さんにも提供できると思います。当院の明るい雰囲気はとても魅力的な部分だと思います。

当院の魅力を少しでもお伝えできたでしょうか。ぜひ一度見学にいらしてください！私が当院で働きたいと感じたように皆さんにも魅力を感じてもらえたら嬉しいです。





「彩の国東大宮メディカルセンターでの 研修の魅力」

研修医2年目

2023年度入職 信州大学出身

彩の国東大宮メディカルセンターは、研修医の皆さんにとって理想的な環境であり、将来の医療キャリアを築く上で貴重な経験を積むことができる場所です。

当院の特徴的な救急研修は、研修医が医療の第一線で活躍するためのスキルを養う絶好の機会です。1年目の2ヶ月間に渡る救急研修では、ファーストタッチや患者への説明の仕方などを、経験豊富な指導医のサポートのもとで学ぶことができます。様々な症例が訪れるため、研修医は多様な疾患や緊急症例に直面し、対応力を磨いていきます。臨床経験の豊富さは、将来の医師としての自信とスキルを築く上で不可欠です。

救急医療におけるEvidence-Based Medicine（EBM）はもちろんのこと、患者さんとの適切なコミュニケーションや社会的背景を考慮した医療提供の重要性も、熱心な指導医から学ぶことができます。病院の規模に対して多数の救急患者が訪れる当院での研修は、研修医にとって充実した2年間を提供し、将来の医療キャリアにおいて素晴らしい経験になると考えています。

当直では、当直医1人と研修医2人の計3人でチームを組み、患者へのファーストタッチから治療方針の決定まで、迅速かつ適切な対応が求められます。このような状況下での経験を通じて、研修医は自らの能力を最大限に発揮し、自信を深めることができます。また、当院はあいさつや時間を守ることなど、社会人としての必要なコミュニケーションスキルを大切に、明るい雰囲気の中で働くことができます。

また、研修医同期や先輩後輩との仲も良く、先輩からは様々な相談に乗ってもらうことができ、困ったことがあれば仕事上でもプライベートでも先輩に相談にしています。同期間ではお互いに症例について考えたり、珍しい症例があったときは共有するような文化が根づいており、毎日切磋琢磨しながら成長しています。

彩の国東大宮メディカルセンターでは、医師としての専門性だけでなく、人間性を大切に医療を学ぶことができます。また、地域医療に貢献する医師としてのスキルを磨くだけでなく、個々の患者との信頼関係を築きながら、医療の理想を追求していける環境が整っています。

ぜひ2年間の研修で医師としての重要な基盤を当院で築いてみませんか？



彩の国東大宮メディカルセンターの特徴

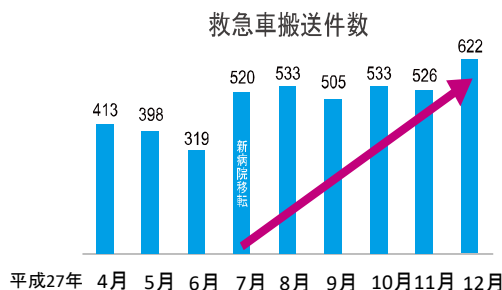
● 救急

救急搬送件数は年間約5,000件を受入れております。

1次、2次救急を中心に参加、小児科以外の患者はすべての受入れを目指しています。

新病院移転後、「救急受入れ件数」並びに「救急受入率」とともに改善が認められ、平成28年9月、令和2年9月には、埼玉県より表彰されました。

救急部の研修では、“3年次の4月1日には独り立ちできているように”を研修コンセプトのもと、様々な疾患の初期対応が経験でき、研修医の皆さんの臨床力育成にも適しています。



ER



救急初療室



ICU



ICU病床

● 院内ICLS講習会・院内JMECC講習会 開催

ICLS : 当院で開催するICLSは救急医学会認定のコースのため、学会認定の受講証を取得することが可能です。

JMECC : 内科専門研修プログラムにて必須とされている救急蘇生講習会JMECCを年1回開催しています。



彩の国東大宮メディカルセンターの特徴

● 埼玉県がん診療指定病院としての機能

放射線治療（リニアック）・PET-CTの導入、外来化学療法室、がんサロンの充実を図るとともに、がん治療センターを開設しました。さらに、さいたま市初の緩和ケア病棟として22床を新規開設し、がんに特化した婦人科を新規立ち上げるなど、埼玉県がん診療指定病院として必要なハード面の充実を図っています。



緩和ケア病棟（個室）



放射線治療（リニアック）



がん治療センター

● 指導医数

臨床経験7年目以上で、指導医の資格がある上級医は、厚生労働省の定める「臨床研修指導医養成講習会」を受講しています。当院の常勤医師のほとんどが指導医であり、指導医をはじめ、科全体で研修医を育てる充実した指導体制をとっています。

● メンター制度

当院では、メンター制度を取り入れ、メンター1人につき研修医3、4名を担当しています。懇親会や普段の声かけを通じ、診療科に関わらず研修全般にわたり相談・サポート役を担っています。また、定期的な面談を行い、全体での情報共有に努めています。



各メンター会の様子

● 医局・研修医室・シミュレーションセンター

2年目研修医の机は医局に、1年目研修医の机は研修医室にあります。1、2年目研修医同士のコミュニケーションの場としても研修医室を使用しています。さらに、研修医の教育環境の強化として、シミュレーションセンターを整備しています。



医局



研修医室



2段ベッド（研修医室）



シミュレーションセンター

主な年間行事

4月

研修医オリエンテーション

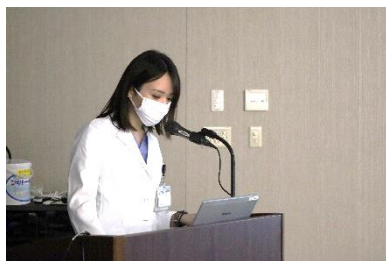
職種を超えて一同に学ぶことで新人としての意識の統一を図ります。



6月

院内学会（年2回、6月と11月）

各診療科の医師達が相互に診療内容を把握し理解を深め、さらなる信頼と協力関係を構築するために通常の学会形式で質疑応答を含め発表を行います。



10月

AMG 大運動会

グループ病院の全職員が参加し、交流を深めます。



12月

病院忘年会

浦和ロイヤルバインズホテルで行われ、参加した500名以上の職員が一年の朗を労います。



ナイスボーイ受賞！



主な年間行事

1月

AMG診療部交流会

病院の垣根を超えた診療部医師間の情報交換会



2月

大宮医師会症例検討会

自治医大さいたま、さいたま市民医療センターの研修医が集まり、代表者が症例を発表します。

埼玉県医学会総会（内科地方会 等）

院外の学会での発表を1、2年目それぞれ1回ずつ、2年間のうち論文投稿を1つ行います。



3月

修了証書授与式・修了パーティー・新1年目研修医との顔合わせ交流会



初期臨床研修医プログラムスケジュール

当院では、初期研修の2年間は、将来の専攻分野にかかわらず「プライマリ・ケアにおける基本的な診療能力を習得する期間」としてしています。厚生労働省が定める「経験すべき症状・病態・疾患」をこの2年間で達成できることを第一の目的としています。専門医になったときの實力差は専門知識の量と技術はもちろん、他科との境界領域の知識量にも表れると言われてしています。ぜひこの2年間は、しっかりと「generalist mind」を育てていただきたいと思います。

●研修プログラム ～3年目の独り立ちを目指して～

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	8週		8週		8週		8週		8週		8週	
	必修		必修		必修		必修		必修		当院必修	
	内 科		消化器内科		循環器内科		外 科		救急科		麻酔科	
2年次	4週	4週	4週	4週	4週	4週	24週（6ヶ月）					
	必修 (協力型病院)	必修 (協力型病院)	必修 (協力型病院)	必修 (協力型病院)	必修	調整	自由選択科目					
	地域医療 (外発研修) 外 部	精神科 外 部	産婦人科 外 部	小児科 外 部	救急科	必須科目 不足した 期間を 調整する	内科、循環器内科、消化器内科、外科、救急科、麻酔科、放射線科、 整形外科、泌尿器科、脳神経外科、膠原病・リウマチ内科、血液内科、 緩和ケア内科、病理診断科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科 ※小児科、産婦人科、精神科、地域医療					

■ 厚労省必須

■ 当院必須

■ 研修医の希望で自由に選択することが可能。但しプライマリケアを重視し、1つの診療科に偏ることのないよう調整する。

※スケジュールの順番については、研修医同士の調整が必要であり、順不同となります。

※小児科、産婦人科、精神科、地域医療について、4週以上を希望する場合は、協力型病院との調整になります。

※一般外来…地域医療、小児科、内科研修にてカウントします。

●協力型病院

・小児科研修

上尾中央総合病院（上尾市）
さいたま赤十字病院（さいたま市中央区）
さいたま市民医療センター（さいたま市西区）
越谷市立病院（越谷市）
埼玉医科大学総合医療センター（川越市）
川口市立医療センター（川口市）
独立行政法人国立病院機構埼玉病院（和光市）

・産婦人科研修

上尾中央総合病院（上尾市）
自治医科大学附属さいたま医療センター（さいたま市大宮区）
さいたま赤十字病院（さいたま市中央区）
越谷市立病院（越谷市）
埼玉医科大学総合医療センター（川越市）
独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院（所沢市）
東京北医療センター（東京都北区赤羽）

・精神科研修

大宮厚生病院（さいたま市見沼区）
社会福祉法人シナプス埼玉精神神経センター（さいたま市中央区）

・地域医療研修

平戸市民病院（長崎県平戸市）
平戸市立生月病院（長崎県平戸市）
長崎県上五島病院（長崎県平戸市）
柿添病院（長崎県平戸市）
青洲会病院（長崎県平戸市）
秩父市立病院（秩父市）
小池内科クリニック（さいたま市北区）

新専門医制度について

新制度においては、2年間の初期研修を終えた医師が「総合診療専門医」を含んだ19の基本領域の分野を3年間で習得し、より詳しい専門分野として「サブスペシャリティ」へと進んでいきます。

●基幹施設 内科専門研修



●連携・関連施設として各基幹施設と連携しています

- ・ 外科 基幹施設：東京女子医科大学附属足立医療センター、上尾中央総合病院、自治医科大学附属さいたま医療センター
- ・ 脳神経外科 基幹施設：防衛医科大学校
- ・ 整形外科 基幹施設：埼玉医科大学総合医療センター
- ・ 泌尿器科 基幹施設：埼玉医科大学病院、上尾中央総合病院、自治医科大学附属さいたま医療センター
- ・ 救急科 基幹施設：さいたま赤十字病院、自治医科大学附属さいたま医療センター
- ・ 麻酔科 基幹施設：埼玉医科大学総合医療センター
- ・ 放射線科 基幹施設：自治医科大学附属さいたま医療センター
- ・ 耳鼻咽喉科 基幹施設：上尾中央総合病院

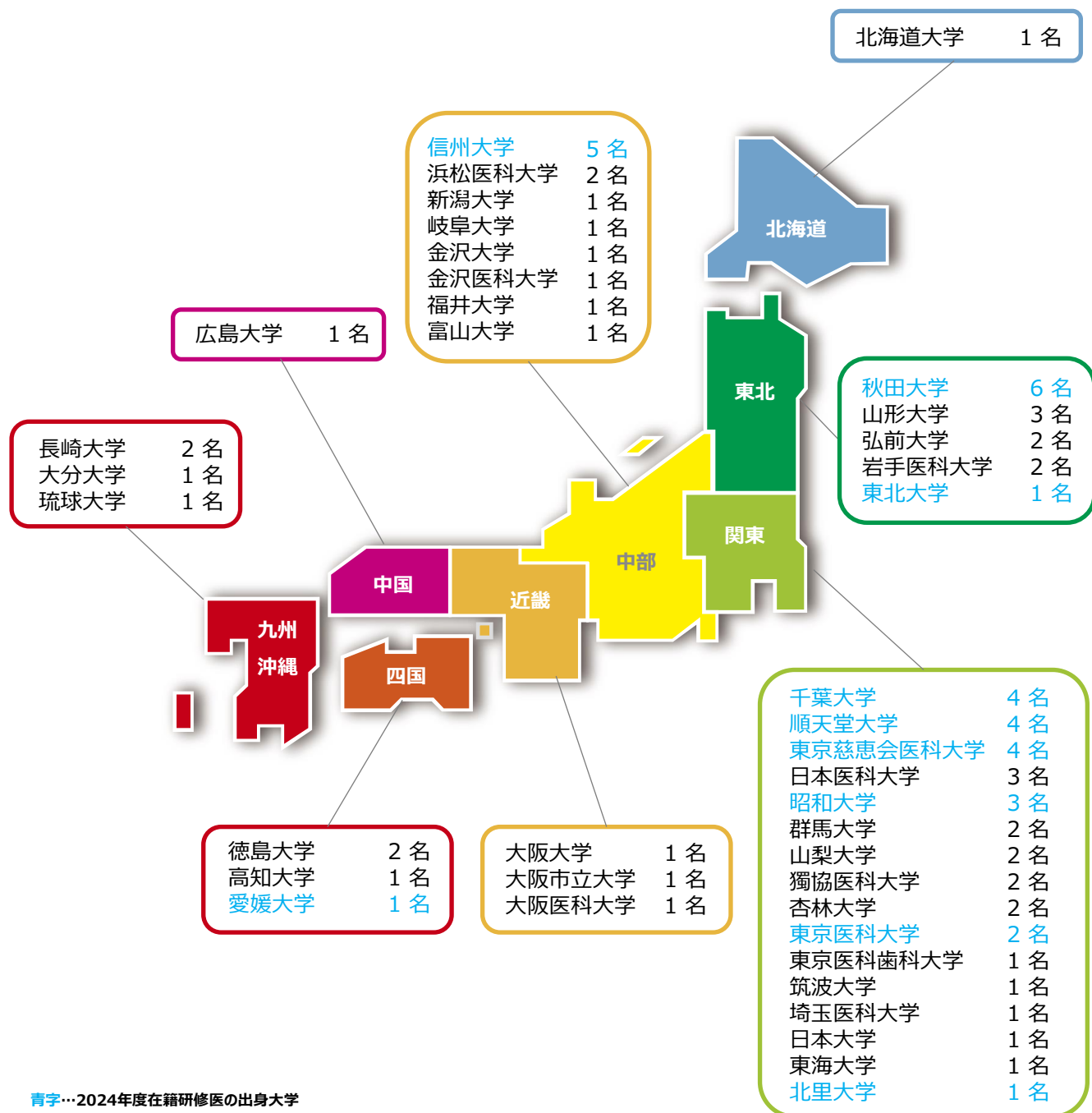
初期研修修了後の進路 (2020 年度 ～ 2023 年度)

	所属プログラム病院名	専攻科	区分	所在地
2024(R6)年3月卒	TCB東京中央美容外科	美容皮膚科	市中病院	東京都
	東京慈恵会医科大学附属病院	皮膚科	大学病院	東京都
	東京医科歯科大学病院	整形外科	大学病院	東京都
	昭和大学病院	皮膚科	大学病院	東京都
	慶應義塾大学病院	眼科	大学病院	東京都
	社会福祉法人シナプス 埼玉精神神経センター	精神科	市中病院	埼玉県
	昭和大学横浜市北部病院	整形外科	大学病院	神奈川県
2023(R5)年3月卒	東京慈恵会医科大学附属病院	泌尿器科	大学病院	東京都
	東京医科大学病院	眼科	大学病院	東京都
	上尾中央総合病院	泌尿器科	市中病院	埼玉県
	昭和大学藤が丘病院	形成外科	大学病院	神奈川県
	東京大学医学部附属病院	泌尿器科	大学病院	東京都
	昭和大学江東豊洲病院	小児科	大学病院	東京都
	帝京大学医学部附属病院	麻酔科	大学病院	東京都
	獨協医科大学埼玉医療センター	放射線科	大学病院	埼玉県
2022(R4)年3月卒	済生会川口総合病院	整形外科	市中病院	埼玉県
	帝京大学医学部附属病院	麻酔科	大学病院	東京都
	日本医科大学付属病院	血液内科	大学病院	東京都
	日本大学医学部附属板橋病院	脳神経外科	大学病院	東京都
	弘前大学医学部附属病院	循環器内科	大学病院	青森県
	さいたま市立病院	麻酔科	市中病院	埼玉県
	日本医科大学付属病院	形成外科	大学病院	東京都
	さいたま市立病院	小児科	市中病院	埼玉県
2021(R3)年3月卒	獨協医科大学埼玉医療センター	皮膚科	大学病院	埼玉県
	杏林大学医学部付属病院	泌尿器科	大学病院	東京都
	がん研有明病院	整形外科	市中病院	東京都
	横田空軍病院	一般内科	市中病院	神奈川県
	練馬光が丘病院	総合診療科	市中病院	東京都
	東京慈恵会医科大学附属病院	皮膚科	大学病院	東京都
	順天堂大学医学部附属順天堂医院	整形外科	大学病院	東京都
	福岡大学病院	放射線科	大学病院	福岡県

研修医 出身大学一覧 (2014 年度 ~ 2024 年度)

全国各地から採用をしています。

大学別、出身地、男女比など関係なく、採用試験・面接試験により採用決定しています。



青字…2024年度在籍研修医の出身大学

他にもこんなに充実!!

- モーニングレクチャー
- 研修医症例発表会
- 院内学会
- ICU勉強会
- NST、RST研修会
- 外部講師による講演会 など

レクリエーションも・・・★



- 院内旅行・BBQ
- 上級医との交流会
- AMG大運動会
- 大忘年会



彩の国東大宮メディカルセンター 臨床研修プログラム募集要項【2025年度4月入職】

1. 応募資格

2025年3月卒業見込み又は既卒者で第119医師国家試験受験見込の者で、かつ医師臨床研修マッチングプログラム参加者
※当院の病院見学に参加している者

2. 募集人数 8名

3. 採用試験の日程

① 選考日

2024年8月19日(月)、21日(水)、22日(木)

② 選考方法 : 個人面接、筆記試験(国家試験レベル) 50分

*人物重視で選考します



4. 出願書類等

下記の書類を一括して封筒に入れ、下記提出先へ郵送してください。

- ① 彩の国東大宮メディカルセンター臨床研修医応募願書 (※指定様式 当院HP上に添付データあり)
- ② 履歴書 (必ず写真を添付してください ※指定様式 当院HP上に添付データあり)
- ③ 成績証明書・卒業(見込み)証明書
- ④ 健康診断書 (大学発行のもので可)
- ⑤ CBT成績証明書 (必須)

5. 応募締切

2024年7月28日(日) 必着

6. 書類提出先・問い合わせ先

〒331-8577 埼玉県さいたま市北区土呂町1522

彩の国東大宮メディカルセンター 臨床研修センター 宛

TEL : 048-665-6111 (代表)

URL : <http://www.shmc.jp/>

E-mail : kenshui@shmc.jp

研修医の処遇

- ① 身分 : 常勤職員(研修医)
- ② 給与 : 1年次 450,000円 / 2年次 500,000円 (月額)
- ③ 勤務時間 : 研修科によって異なる(週40時間以内)
 - (1) 内科系… 月～金 9:00～17:30 / 土(隔週) 9:00～13:00
 - (2) 外科系… 月～金 9:00～18:00 / 8:30～17:30
- ④ 休日 : 日曜、祝日、年末年始(12/30午後～1/3迄)
- ⑤ 休暇 : 有給休暇 (1年次:10日 / 2年次:11日)
- ⑥ 当直 : 有り (1年次15,000円/回 2年次25,000円/回)
- ⑦ 宿舍 : 医師住宅規定により住宅を貸与する。家賃補助有り、赴任時引越し料補助(20万円まで)
宿舍はマンションタイプ(多くの物件から選んでいただき、当院が契約を結びます(借上社宅))
- ⑧ 保険等 : 協会けんぽ・雇用保険・厚生年金・労働者災害補償保険
- ⑨ 健康診断 : 2回/年
- ⑩ 医師賠償責任保険 : 病院において加入
- ⑪ 学会・研修会等 : 参加費用有(8万円/年)、学会休3日/年(公休扱い)
- ⑫ 食事 : 職員食堂・コンビニ・ベーカリーあり
- ⑬ 福利厚生 : 療養費還付制度、職員旅行、保養所



車でお越しの場合



- 首都高速埼玉新都心線 「さいたま見沼」ICより約18分
- 東北自動車道 「岩槻」ICより約21分

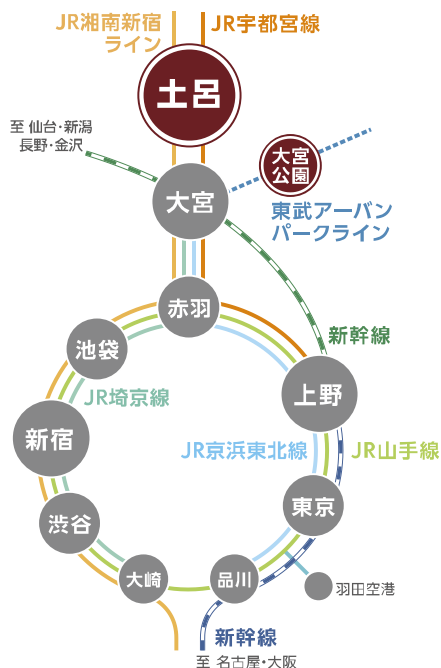
電車をご利用の場合



- JR(宇都宮線・湘南新宿ライン・上野東京ライン)
「土呂駅」東口より徒歩11分
- 大宮駅→土呂駅 3分
- 浦和駅→土呂駅 11分
- 久喜駅→土呂駅 17分
- 上野駅→土呂駅 30分
- 池袋駅→土呂駅 30分

- 東武アーバンパークライン(東武鉄道)
「大宮公園駅」より徒歩9分
- 大宮駅→大宮公園駅 4分
- 春日部駅→大宮公園駅 17分

※上記時間は目安としてご利用ください



医療法人社団協友会

彩の国東大宮メディカルセンター

〒331-8577 埼玉県さいたま市北区土呂町 1522